



▼イベントを行う際は、あいサポート運動の啓発を実施している

あい♡サポート団体



▶センターの活動イメージ図

あいサポート運動の

取り組み内容

●あいサポート企業・団体への勧誘

まずは、障がいについて知ってもらいたいとの思いから、センターと付き合いがある取引先、あるいは、センターに連絡してきた企業・団体に対し、あいサポート企業・団体への加入を勧めている。事業所の仕事や商品購入の依頼をするときも、「あいサポート企業にもなっていただけませんか」と働き掛け、申請の手伝いをしている。

●職員があいサポートメッセンジャー

センター職員2人が、あいサポートメッセンジャーである。県から依頼があった場合、企業などに直接出向き、あいサポートメッセンジャーとなって研修を行っている。

●あいサポート運動の啓発

イベント開催時などに、あいサポート運動の啓発も行っている。

●センター業務の充実、徹底

センターは、事業所ひいてはそこで働く障がいのある人の収入の向上を軸としている。企業・団体に、事業所の現況や障がい者の就労状況などを伝える役目も担っている。活動そのものが、あいサポート運動の理念と同じであるため、常に業務の充実が図れるよう、努力している。

今後の展望、目標

事業所で働く障がい者が自分で働いたお金を地域で使うことで、地域の一員として暮らしている実感を得る。あいサポート企業・団体とさらに連携を深めて、事業所の仕事を増やしていきたい。一緒に事業展開していく、または、事業所と企業が共同で店を出すなど、さまざまなパターンを探っていきたい。下請け的ではなく、事業所が企業・団体のパートナーとなれるような橋渡しの役目をしっかり担っていきたい。

代表者のコメント

センター長 濱田和弘



障がいがある人の幸せの中に、収入面は外せない。しかし、それはいただくのではなく働いて得ることが大切。その部分を生み出すため、あいサポート企業・団体としっかり連携して仕事づくりの体制を築いていきたい。

●問い合わせ・連絡先

TEL0859-31-1015
FAX0859-31-1035

全てのお客さまに満足いただくために

松江市

(株)山陰合同銀行



▲研修に取り組む行員たち



◀車イスの介助を学ぶ行員

<概要>

所在地／島根県松江市魚町10

代表者／取締役頭取 久保田一郎

事業内容／銀行業

職員数／2015人 (2013年9月30日未現在)

あいサポート企業になったきっかけ

以前から、窓口などでの障がい者対応の職員研修や雇用に力を入れてきましたが、2009年11月に鳥取県が「あいサポート運動」を開始されたことを受け、障がい者に必要な配慮等を理解し、誰もが暮らしやすい地域社会を実現するという趣旨に賛同。申請を行い、2010年1月にあいサポート第1号の企業として認定されました。



▲「ごうぎんチャレンジまつえ」のメンバー

あいサポート運動の

取り組み内容

- 行内のEラーニングシステムを利用して、行員や準職員がDVD「まず、知ることからはじめましょう 障がいのこと」を視聴し、知識と理解を深めるよう努めています。
- 障がいのある人への対応をCS(顧客満足度)向上の観点から業務別、階層別の研修に組み込み、徹底しています。
- 銀行取引を行う際に代筆、代読を可能にするなど、障がいの者の利便性向上を図っています。
- 視覚障がい者への対応ATM、点字ブロック、点字通帳・印字などの充実を図っています。
- 知的障がい者が専門的に就労できる事業所「ごうぎんチャレンジまつえ」を開設し、20人の職員を雇用。事務作業のほか、描いた絵をデザインとして活用する自立支援の仕組みづくりなどを行っています。

今後の展望、目標

今後も、職員研修などを通して障がいに対する知識と理解を深めるとともに、視覚障がい者への対応ATM、点字ブロックなどを順次拡大していきたいと考えています。

「ごうぎんチャレンジまつえ」の取り組みを「地域が創るセーフティーネット」のモデルケースとして普及に努めていきたいと考えています。

代表者のコメント

取締役頭取 久保田 一郎



地域のリーディングカンパニーとして、障がい者の方はもちろん、全てのお客様に満足いただくために、一人ひとりのお客様に心を込めた対応を行うよう職員を教育するとともに、サービスレベルをさらに向上させたい。

●問い合わせ・連絡先

TEL0852-55-1072

FAX0852-26-9661

●担当

人事部教育研修グループ

浜田市立国府公民館



▲浜田ろう学校の生徒と交流する公民館主催教室「手話教室しゅわーる」のメンバー

<概要>

所在地／島根県浜田市国分町1981-136

代表者／館長 湯浅勝

公民館業務／貸館、一般行政連絡係、学校支援地域本部事業
主催共催事業(約40)、公民館だより発行

職員数／5人(うちメッセンジャー3人)

国府地区人口／6,200人、2,700世帯

あいサポート団体になったきっかけ

新規福祉事業を模索していたとき、職員数人があいサポート研修を受講した。障がいを知り、共に生きる地域社会を目指す素晴らしい運動に共鳴し、公民館の主要事業に加えた。2年の強化期間を設定し、2012年度より取り組んでいる。



▲公民館の大正琴教室「琴扇芳の会」のメンバーと一緒に琴を奏でる浜田養護学校の生徒